

みえ 三重県議会 新聞

令和7年度(2025年度)NO.2

もくじ

- ① ページ みえ現場de県議会を開催
- ② ページ 2025年「あなたが選ぶ!三重県議会の活動ベスト10」
- ③ ページ 議会とはどんな活動をしているの?・みえ県議会出前講座を14校で実施!
- ④ ページ 議会用語について知ろう・クロスワードパズル

お知らせ

「みえ高校生県議会」を開催します

三重県議会では、高校生に議会活動の体験を通じて議会への関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくことを目的として「みえ高校生県議会」を開催します。

開催日 令和8年8月20日(木)
場所 三重県議会議事堂 議場



詳しくはコチラ!

みえ現場de県議会を開催

三重県議会では、多様な意見を聞き、県議会での議論に反映するため、テーマを設定し、県民の皆さんから直接意見を聞く「みえ現場de県議会」を平成22年度から開催しています。令和7年度は2つのテーマで開催しました。

第1回 テーマ 「若者とこれからの地域づくり～防災・減災～」

第1回は、令和7年10月29日に、四日市大学で開催しました。県内や能登半島地震などの被災地で地域防災や被災地支援の活動を行っている大学生や地域防災活動を支援する関係団体の方などと意見交換を行いました。

参加者

- 県内在住・在学の方(15~39歳程度)
- ・地域防災や被災地支援の活動に参加している方など9人(大学生8人、社会人1人)
- ・地域防災活動を支援する大学等関係団体の方など3人
- 県議会議員(広聴広報会議議長(副議長)、広聴広報会議委員、防災県土整備企業常任委員長)10人

(写真の配置と発言は一致しません)



Q1. 私たちのまちで大規模災害が起こったとき、私たちに何ができるか

- 内陸地域では、海沿いの津波避難者の受け入れも想定して、炊き出しや避難所運営の訓練に力点を置いている。
- 骨折しても病院に運べたのは数日後という例があるように、発災直後は周りにいる人たちが助けるしかない。
- 災害時に看護学生を看護師の下で安全にボランティア活動できるプログラムを考えている。
- 防災アプリは県と市町両方の情報にリアルタイムでつながるとよい。また、若い人がアプリで情報を集めて避難所の皆さんに伝えるとよいのではないかと。
- 能登では、足浴やお茶会といったボランティア活動を行っている。家族を亡くされたりしており、雑談でもよいので心のケアになればと思っている。

Q2. 大規模災害に備えてどんな準備をすればよいか

- 三重県の小中学校で使われている「防災ノート」は他県からの評判が良い。これにより県内の子どもたちの防災意識は他県より高いのではないかと。
- 地域の祭り会場は避難場所でもあり、楽しい思い出とともに避難経路を覚えることにもつながる。また、そこで炊き出しやってみようとか、防災につながる要素を入れてもよいのではないかと。
- 災害時は避難所でも上下水道が止まる可能性があり、ビニル袋や折り畳み式トイレ、洗浄水や消毒液などの備蓄が必要。
- 消防団の活動は危険などのイメージがあり、最初に親に具体的な活動をしっかりと説明できると理解してもらえる。被災地では女性団員の存在が評価されていて、最近は女性を積極的に受け入れる消防団が増えてきている。

第2回 テーマ 「離島の振興～『観光』による課題解決を目指して～」

第2回は、令和8年2月19日に、鳥羽フェリーターミナルで開催しました。鳥羽市の答志島・神島と、志摩市の渡鹿野島で、観光業や島の活性化に携わる方々と意見交換を行いました。

参加者

- 答志島・神島・渡鹿野島で観光業や地域活性化に携わる関係者の方 5人
- 県議会議員(議長、広聴広報会議議長(副議長)、広聴広報会議委員、総務地域連携交通常任委員長、政策企画雇用経済観光常任委員長)13人



《鳥羽市・神島》
寺田林右衛門本店
代表 寺田 勝昭 さん

【観光】SNSを見た方からメッセージをもらって月に約100人案内の予定を調整している。島に来る方は、あたり一面の大海原の景色を必ず見に行く。木が伸びてきて危険な箇所もあり、島民の力では限界を感じる。景色は大事なので、行政にはフォローをお願いしたい。

【船】案内する中で、離島で朝日が見たいという方が多いが、島の宿は1軒しかなく、また、鳥羽からの始発便は朝日が昇ってから島に着く。始発便として離島に来る0便(ゼロびん)をカラで動かすよりは少しでも人を乗せたほうが赤字解消になるし、できるようにする工夫があると考える。



《志摩市・渡鹿野島》
有限会社 観光旅館福壽荘
会長 木村 圭仁朗 さん

【観光】バリアフリー整備をしないと観光客が来ない。船の乗り降りの際に、段差ができてしまうので、浮き橋が必要だが、本土側で反対されて長年設置の話が進まない。

【インバウンド】同じエージェントで台湾からのツアー客が毎月2~3本来ている。

【船】渡船という一番のライフラインが頼りないと、安心して生活できない。

【その他】「離島である」ことを理由に、手に入らないものや割増料金がかかるサービスも多い。(例:特Aの重油など)これを離島のハンデとして認識してほしい。



《志摩市・渡鹿野島》
渡鹿野区
区長 茶香 潤造 さん

【地域活性化の取り組み】「ハートアイランド渡鹿野島」という名称で、ハートにまつわる取り組み(例:島内神社の絵馬をハート型の貝で作成等)を幾つかした。島民の皆さんの意識は重要。取り組みを常に回覧板にして、住民の方々に情報提供している。

【船】島と対岸を結ぶ渡船を扱う業者3社のうち、1社が辞める。令和8年度からの国の運行管理体制の強化の影響で、船長以外に実務経験が1年以上要する運行管理者を置く必要ができたので、今後、渡船に個人業者が新規参入することができなくなるが、志摩市も実務経験がなく運行管理者になれずフォローできない。そこが本当に悩んでいる。



《鳥羽市・答志島》
島の旅社推進協議会
スタッフ 濱口 浩代 さん

【インバウンド】これからはインバウンドも受け入れていかないといけないと考えている。少しずつ整えていきたい。

【船】5年後には機関長という仕事の人が随分減る見込み。機関長を確保できないと減便が更に進むようだ。そうならないように、4島の離島の総意で、市から県、県から国という形で、一致団結して訴えないとこの問題の解決は難しいと思う。定期船に関する体制自体が今後厳しい状況になっていくと聞いているので、そうならないように力を貸してほしい。



《鳥羽市・答志島》
一般社団法人 離島未来舎
代表理事 山下 憲一 さん

【地域活性化の取り組み】国の補助事業の中で、体験ツアーを行った。ツアー参加者に一番良かったところを聞いたところ、島の人たちとの関係性との回答だったので、離島地域は二地域居住の候補地となる可能性があると感じた。島外の方へ島に関わり続けていただくためには、島のリアルな部分を見ることが大事。滞在用の住居の不足、旅費等の経済的な負担、仕事との両立など、課題がたくさんある。地域課題の解決型の体験プランを作りながら、二地域居住の可能性を広げていきたい。

※意見交換の中から、主な意見を抜粋して掲載しています。なお、当日の概要は、三重県議会ホームページでご覧いただけます。

参加者の皆さんからいただいたご意見は、関係常任委員会で共有し議論するなど、県政への反映につながるよう取り組んでいきます。



2025年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」

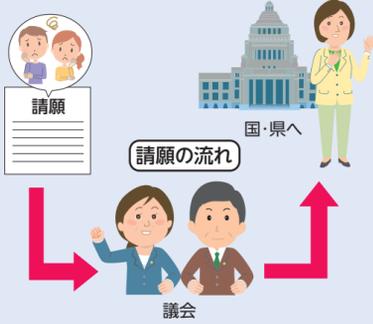
三重県議会では、毎年12月に、県民の方と県議会議員の投票による「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を発表しています。
2025年にベスト10に選定された取り組みから、県議会の1年間の主な活動を振り返ります。(投票数:県民の方1,196人、県議会議員47人)
※記事の内容は、投票開始時点(令和7年11月11日)のものです。

開かれた議会運営の実現

1 (1月～) 県民の皆さんの想いを国や知事等へ 《請願15件を受け付け》 (注)2025年1月～10月末に受け付けた件数です

県民の皆さんの想いがこめられた請願15件の趣旨をしっかりと受け止め、所管の常任委員会でも審査しています。

所管の常任委員会での審査結果を踏まえ、本会議で採択された請願のうち、県政に関するものについては、その実現に向け、どのように取り組んだのか知事に対し報告を求め、国政に関するものについては、衆参両院議長や内閣総理大臣に対して意見書を提出するとともに、県選出国會議員に協力を要請しています。



2 (1月～) 次代を担う児童・生徒に主権者教育を実施 《みえ県議会出前講座で8校を訪問》

未来の有権者である子どもたちに、主権者教育の一環として、議会の仕組みや役割を伝える授業を行っています。

1月の県立紀南高校(当時:現:県立熊野青藍高校 紀南校舎)を皮切りに、10月までに小学校や高校 計8校で実施しました。

児童からは「県議会のことを詳しく知ることができたのと同時に、政治に興味を持つことができました」や「私が18歳になったら積極的に選挙に行きたいと思いました」等の感想をいただきました。



出前講座の様子
(四日市市立浜田小学校)

3 (1月～2月) 高校生からの提案に対する、議会での議論をフィードバック 《みえ高校生県議会フィードバック実施》

令和6年8月に開催した「みえ高校生県議会」で高校生からいただいた提案等について、行政部門別常任委員会での議論の結果を議員から高校生に報告するとともに、高校生からその後の取組状況について聴き取りを行い、相互にフィードバックを行う仕組みを新たに構築しました。

高校生からは、「自分たちの提案が県の事業として形になっていくとは思っていなかった、とても嬉しい」や「言ってみる・やってみることで変えていくことができるという実感を持った」などの感想をいただきました。



フィードバックの様子(県立津高校)

4 (2月・10月) 県民の皆さんの多様な意見を議論に反映 《みえ現場 de 県議会を2回開催》

県政の重要課題等をテーマに県内各地で県民の皆さんと意見交換を行う「みえ現場 de 県議会」。2月には「SDGsにも貢献する森林・林業」をテーマに、熊野市で林業や木材利用の関係者の方々と意見交換を行いました。

また、10月には「若者とこれからの地域づくり～防災・減災～」をテーマに、四日市市や石川県で地域防災・被災地支援活動に参加している、四日市大学・四日市看護医療大学の学生や、地域防災活動を支援する関係団体の方々と意見交換を行いました。

いただいたさまざまなご意見を踏まえ、県議会での議論を深め、施策や予算に反映できるよう取り組んでいます。



みえ現場 de 県議会の様子(熊野市)

住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

5 (1月・2月・6月) 物価高騰や米国の関税措置による影響に対応するための予算を決定 《補正予算の議決》

エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている生活者や医療・介護事業所、農畜水産業、中小企業等の事業者に対する支援を進めるため、補正予算を速やかに議決しました。

また、米国の関税措置による影響が懸念される中小企業、農水産業者等を支援するための補正予算を速やかに議決しました。

具体的には、物価高騰対策として、生活者や事業者等に対してLPガス料金高騰分の一部を支援するための予算などについて、米国の関税措置対策として、中小企業・小規模企業、農水産業者に対して資金繰り支援を行うための予算などについて決定しました。



6 (8月) 県民生活の向上等に向け、今後の県政運営に関する意見を 知事に申し入れ 《令和6年度の政策を評価し、議会の意見を表明》

予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会では、関係部局が令和6年度に取り組んだ成果や課題、今後の取組方向をとりまとめた「令和7年版県政レポート(案)」について詳細に調査・議論しました。

これらを踏まえ、8月8日、予算決算常任委員長をはじめ各委員長が、知事に対して、県内産業の持続的な発展に向けた取り組みや、メリハリのある予算編成を含む財政運営を求めるとともに、各施策に対する意見を述べ、令和8年度の行政展開方針や当初予算編成に反映させるよう申し入れました。



知事への申し入れ

7 (8月～9月) 学校における児童生徒の盗撮被害防止対策の徹底、 教職員の不祥事の根絶に向けて強く意見 《他県での教員による児童盗撮事案を受けての教育警察常任委員会の動き》

女子児童を盗撮し、SNSのグループチャットで動画や画像を共有したとして、名古屋市および横浜市の小学校教員が、性的姿態撮影処罰法違反容疑で逮捕される事案が発生しました。これを受けて、議会では8月5日に臨時で教育警察常任委員会を開催し、本事案を踏まえた対応について議論を行いました。

議論の結果、①学校における児童生徒の盗撮被害防止対策の環境整備等に向け、必要な予算をしっかりと確保すること、②本県教職員の不祥事を根絶し、児童生徒、保護者および地域の方々々に信頼される教職員であり続けることの2点を、9月25日の本会議の委員長報告で強く求めました。



委員長報告の様子

8 (10月) 物価高騰及び賃金上昇に対応するための医療機関等への経営支援 及び診療報酬の改定を求める意見書案を全会一致で可決 《県議会の意見書を国へ提出》

9月定例会議において、「物価高騰及び賃金上昇に対応するための医療機関等への経営支援及び診療報酬の改定を求める意見書案」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。

物価高騰および賃金上昇の影響により、医療機関等の経営状況が非常に厳しい状況にあり、看護職員の賃上げが他産業並みには及ばない状況にあります。そのため、この意見書では、医療機関等の経営支援策や診療報酬の十分な引上げなどを国に求めました。



県議会の意見を国へ

独自の政策提言と政策立案の強化

9 (5月～) 「海」の課題解決に向けて分野横断的な議論・独自の政策提言へ 《豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会を設置》

三重県にとっての「海」は、水産業や県民の暮らしにとって、非常に重要なものですが、近年、海を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、全国豊かな海づくり大会の開催も契機として、豊かで美しい海への取り組みを推進するため、今年度、新たに特別委員会を設置しました。

委員会では、生き物が暮らす観点での海洋環境保全、海を育む人材の確保、海域の利活用等、漁業関係者、国、学識経験者等も交えて幅広い観点から分野横断的に議論を進めており、豊かで美しい三重の海が次世代へ引き継がれていくことを目指して、現状や課題の整理を行い、政策提言等につなげられるよう委員会活動を行っています。



委員会での調査の様子

10 (10月) 「安心して働ける職場づくりのヒント」を学び、働き方改革や 人材確保の取り組みの議論へ《議員勉強会を開催》

世界においても例をみないスピードで少子・高齢化が進む中、中小企業を中心として広い業種で人材不足が課題となっています。県ではこれまで働き方改革に係る取り組みの周知や取組支援を行ってきましたが、引き続き取り組みを行う必要があります。

議会としても、改めて人材確保に必要な取り組みや働き方改革について学び、議論に生かしていく必要があるため、10月9日、「安心して働ける職場づくりのヒント」をテーマに、議員勉強会を開催しました。

勉強会では、津市内で社会保険労務士として実務に携わる講師から、働き方改革関連法などに係る知見と、それらを踏まえた、人材確保に必要な視点について解説いただき、今後の働き方改革のあり方について理解を深めました。



議員勉強会の様子

議会はどんな活動をしているの？

三重県議会は、1月に「開会」して12月に「閉会」する「通年議会」です。年末年始を除いて議会活動が停止する閉会期間がなくなるため、大規模災害など不測の事態が生じた場合なども、臨機応変に本会議を開催することができます。ここでは、議会のおおまかな1年間のスケジュールと、年4回開催する定例会議の流れを紹介します。

| 議会全体の動き(通年議会) | |
|---------------|------------|
| 1月 | ●開会会議 開会 |
| 2月 | 2月定例会議 |
| 3月 | ●3月会議 |
| 4月 | |
| 5月 | ●5月会議 役員改選 |
| 6月 | 6月定例会議 |
| 7月 | 県内・県外調査 |
| 8月 | |
| 9月 | 9月定例会議 |
| 10月 | |
| 11月 | 11月定例会議 |
| 12月 | 閉会 |

※県議会議員の選挙がない1年のスケジュール概要です。

予算や条例等を決める、年4回の定例会議

本会議

委員会

議案上程

提案説明

質疑

議案を委員会へ付託

委員会で審査
(質疑・採決)

委員長報告

討論

採決



議案上程とは、議案を本会議の議題として取り扱うことです。

議案について、提出者から説明します。議案は知事・議員・委員会から提出されるものがあります。



議員が議案の内容について質問をし、知事等が答弁をします。

議案を詳しく議論するために、少人数の議員で構成される専門の委員会へ審査を託します。
※予算・決算に関する委員会は議長を除く全議員で構成されます。



委員会とは？



委員会では主に本会議から付託された議案・請願の審査や調査を、6つの行政部門別常任委員会(総務地域連携交通・政策企画雇用経済観光・環境生活農林水産・医療保健子ども福祉病院・防災県土整備企業・教育警察、各定数8人)と予算決算常任委員会(定数47人)で分担し、行っています。



専門的に審査・調査するため、議案の内容に応じた委員会で詳しく議論を行い、委員会として賛成か反対を決定します。

委員会での審査が終わった後、決定した内容を委員長が本会議で報告します。



本会議での採決の前に、議員がその案件に対して、賛成か自分の意思を表明することができます。自分の意見に反対の議員や賛否に悩んでいる議員に対して、自分の意見に賛同するよう理由を述べます。

議案について賛成か反対かを、本会議の出席議員の多数決で決めます。



みえ県議会出前講座を14校で実施!

三重県議会では、地方自治に対する親近感を持っていただくことと、将来の住民自治を担う県民としての意識を醸成することを目的に、議員が学校に出向き授業を行う「みえ県議会出前講座」を実施しています。

令和8年3月18日現在



令和7年6月4日 鈴鹿市立郡山小学校



令和7年7月8日 津市立上野小学校



令和7年10月30日 津田学園高等学校



令和7年11月10日 三重大学



令和7年12月23日 鈴鹿大学



令和8年1月23日 三重県立紀南高等学校*

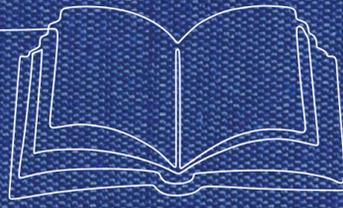


令和8年1月26日 四日市市立大谷台小学校

このほかにも、以下の学校で講座を行いました。

- 令和7年 7月 2日 松阪市立鶴小学校
- 7月 10日 四日市市立浜田小学校
- 7月 16日 東員町立三和小学校
- 11月 13日 亀山市立井田川小学校
- 令和8年 1月 30日 松阪市立大河内小学校
- 2月 6日 伊勢学園高等学校
- 2月 13日 三重県立名張高等学校

※令和7年度に三重県立紀南高校と三重県立木本高校が統合し、熊野青藍高校となりましたが、現在の高校3年生は紀南高校として入学していたため、「三重県立紀南高等学校」と表記しています。



ぎあん 【議案】

議会の議決を経るために、知事、議員または委員会が議長に提出する案件のこと



議案には条例案、予算案などがあります。

ぎだい 【議題】

会議の対象となる案件のこと



実際には、議決の対象となるもの（議案）に限らず、選挙、委員長報告なども含めて、議題と呼んでいます。

しつもん 【質問】

県政一般に関することを問い質すこと



質問には、本会議で個々の議員が行う県政に対する一般質問と5人以上の会派の代表者により行う代表質問があります。

しつぎ 【質疑】

現に議題となっている議案等に関し疑問点を質すこと



県政一般に関する質問とは区別されます。

しんさ 【審査】

委員会において、付託を受けた議案、請願等について質疑、討論して結論を出す一連の過程のこと



付託とは、本会議での質疑が終了した後、さらに詳しく検討を加えるため、所管の常任委員会、議会運営委員会または特別委員会に審査を託すことです。

しんぎ 【審議】

本会議で、付議事件について、説明を聞き、質疑し、討論をし、表決するという一連の流れのこと



付議とは、案件（事件）を議会の審議に付すことです。

議会用語について知ろう

県議会では、日常生活ではあまり聞かない用語が多く使われています。ここでは、そのような聞き慣れない言葉や音は似ているけど意味が異なる言葉などを紹介します。議会用語についてもっと知りたい方は、三重県議会ホームページの用語解説をご覧ください。



さいけつ 【採決】

議長や委員長が本会議や委員会で議員の賛否の意思表示を求めること



本会議では押しボタン式投票（電子採決）を、委員会では起立または挙手採決をしています。

さいたく 【採択】

請願、陳情について、これを肯定する議会の意思決定のこと



否定する意思決定を不採択と言います。

ぎけつ 【議決】

表決（採決）の結果、得られた議会の意思決定のこと



表決とは本会議で議会の意思を決定するため、議長の要求に応じて、出席議員が賛成または反対の意思を表明することです。「採決」は議長が表決をとる行為のことです。

さんかい 【散会】

その日の議事日程に記載された日程のすべてを終了し、その日の本会議を閉じること



【例文】議長：「今日は、これをもって散会いたします。」

にげんだいひょうせい 【二元代表制】

首長と議会議員を、ともに住民が直接選挙で選ぶという制度のこと



地方議会は二元代表制という制度であるのに対して、国は議院内閣制という制度をとっています。

おまけ クロスワードパズル

県議会や三重県に関する用語を主に使ったクロスワードパズルです。3面や4面の上部にヒントが隠されているかもしれません。ぜひチャレンジしてみてください！



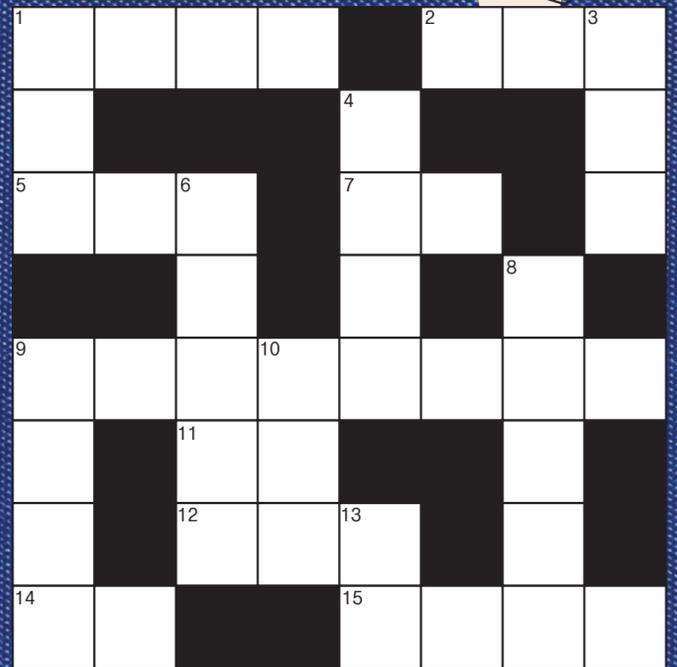
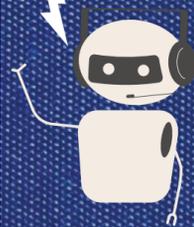
タテのカギ

- 1 本会議で、議案等について、「説明を聞き、質疑し、討論をし、表決する」という一連の流れのこと。
- 3 議会の議決を経るために、知事、議員または「タテ6」が議長に提出する案件のこと。
- 4 ~会。三重県議会は平成25年から年1回の開催です。「2月~月会議」などもあります。
- 6 本会議での質疑後、議案をさらに詳しく議論するために専門の~へ審査を託します。
- 8 本会議で「ヨコ5」として取り扱うこと。
- 9 会議の開催予定など、「今月の議会~」は、三重県議会ホームページTOPからご覧いただけます。
- 10 バスケットボールでプレイヤーが直接ゴールにボールを入れること。~シュート。
- 13 かぐや姫が生まれた場所。~取物語。

ヨコのカギ

- 1 県政一般について問い質すこと。一般~。代表~。
- 2 議案をあらかじめ予定された採決日や閉会日を待たずに会期の途中で議決すること。
- 5 会議の対象となる案件のこと。
- 7 三重県の市町の一つ。忍者市としても知られる~市。亀山市、津市、名張市と接しています。
- 9 ~制。首長と議会議員をともに住民が直接選挙で選ぶ制度のこと。
- 11 金属製の筒型や箱型の容器。アルミ~、スチール~など。
- 12 数が多いこと。たくさん。あまた。
- 14 三重県の市町の一つ。三重県議会議員の選挙区では、~市と鳥羽市が一つの選挙区で、定数は4人です。
- 15 定員を満たしておらず、不足していること。~補充。

答えはコチラ！



編集 三重県議会広聴広報会議

座長 森野 真治(副議長)

委員 市野 修平 荻原 広樹 伊藤 雅慶 市川 岳人 龍神 啓介
辻内 裕也 難波 聖子 喜田 健児 松浦 慶子 山内 道明

みえ県議会新聞に関するご意見・ご感想をお寄せください

三重県議会事務局企画法務課

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059-224-2877 FAX 059-229-1931

E-mail gikaik@pref.mie.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

三重県議会 検索

みえ県議会新聞は年に2回発行しています。

過去のみえ県議会新聞は、ホームページからご覧いただけます。



議会ホームページ



みえ県議会新聞



議会Facebookページ